

奈良・藤原京跡左京二条二坊
ふじわらきょう

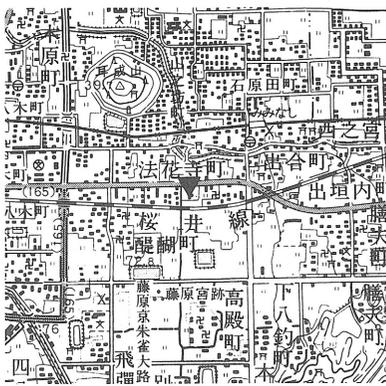
- 1 所在地 奈良県橿原市醍醐町・高殿町
- 2 調査期間 第一〇九次 二〇〇〇年(平12) 八月―一〇月
- 3 発掘機関 奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部
- 4 調査担当者 代表 黒崎 直
- 5 遺跡の種類 都城跡
- 6 遺跡の年代 古墳時代・藤原宮期前後・中世以降
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

調査地は耳成山の南東、左京二条二坊西北坪に位置し、西辺は東一坊大路東側溝にかかる。公衆浴場店舗建設に伴い、二六〇〇㎡を

発掘した。

検出遺構のうち藤原宮期前後に属するものとして、掘立柱建物二八棟、掘立柱塀、井戸等がある。比較的小規模な掘立柱建物が散在する点の特徴といえる。

遺構は方位や重複関係から四時期に細分できる。木



(桜井・吉野山)

簡が出土したのは第一期に属する井戸S E九一四九である。素掘の井戸で、直径約二m、遺構検出面から井戸底部までの深さは一・五m以上。調査地北部に東に開く「コ」字状に並び立つ小規模建物三棟によって取り囲まれており、これらの建物に伴うものである。井戸埋土中より、飛鳥Ⅳ～Ⅴに属する土師器、須恵器が出土した。木簡は堆積層下層の黒灰色粘土層から、木片、骨片、籠編物の断片などとともに三点が出土した（飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報「一五では井戸S E九一四七から木簡一点が出土したと報じているが、木簡ではないことが判明した」）。

8 木簡の内容・积文

いずれも削屑の細片であり、积読できない。

9 関係文献

奈良文化財研究所『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報』一五
(二〇〇一年)

同『奈良文化財研究所紀要二〇〇一』(二〇〇一年)

(竹内 亮)